

1. 各地区（全国8地区）で他大学や病院・薬局実務実習地区調整機構、薬剤師会、病院薬剤師会等との連携によって実施された教育研究活動

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（*）を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2016年（平成28年）度】

<金沢大学>

- 北陸高度がんプロチームがん専門薬剤師養成コース【連携】（*）
 - ・薬学系において広く臨床能力を高めるために新設された6年制学士課程卒業後の学生を対象に、がん薬物治療に特化した専門能力をたかめるための4年制博士課程の充実をはかる一環として設定した。

<名古屋市立大学>

- 東海地区での新しい実務実習実施検討ワークショップ【連携】（*）
 - ・東海地区7薬系大学と各県薬剤師会、病院薬剤師会、東海地区調整機構の連携のよって、2019年度から実施される改訂コアカリ対応の実務実習について検討するワークショップを実施した。
- 改訂コアカリに対応した新しい医療人教育手法の開発
 - ・改訂コアカリへの対応として、臨床準備教育を見直し、新しいより効果的な薬剤師の実践臨床能力開発に向けた以下の内容の研修を実施した。参加人数：4年次生85名
- 新しい地域医療を学ぶ実践学習プログラム
 - ・学部生を対象として、1年生からの医学部、薬学部、看護学部連携による多職種連携教育を基盤に3年生から6年生を中心にさらに実践的な教育効果の高い研修プログラムの開発を行った。

<京都大学>

- 早期体験学習
 - ・1年次において京都府薬剤師会、近隣の薬局および京都大学医学部附属病院薬剤部と連携し、早期体験学習を行った。

<岡山大学>

○ 岡山県薬剤師研修協議会講演会（*）

- ・岡山県薬剤師会、岡山県病院薬剤師会等の職能関係諸団体、就実大学薬学部とともに岡山県薬剤師研修協議会を構成しており、この協議会による講演会を本学薬学部で実施した。

○ 薬剤師教育の改善を地域の薬剤師職能団体とともに推進する事業（*）

- ・岡山大学薬学部／大学院医歯薬学総合研究科（薬学系）では、今後の薬剤師のあり方や方向性などに関する情報を広く集めることに取り組んでいる。その一つとして、岡山県薬剤師会、岡山県病院薬剤師会の協力を得て特別講演会を実施した。
- ・講演会、は岡山大学薬学部／病院薬剤部の教員／学生／職員のみならず、県薬剤師会／病院薬剤師会を通じて薬学に関連した全ての方々に開放した。

○ 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中四国支部学術大会シンポジウム

「文科省特別経費事業・先導的薬剤師養成に向けた実践的アドバンスト教育プログラムの共同開発（H22-H27年度）（*）

- ・国立14大学が参画し第2期中期目標期間中に実施した「先導的薬剤師養成に向けた実践的アドバンスト教育プログラムの共同開発」事業の成果の普及に向けて中四国国立3大学（岡山大学、広島大学、徳島大学）における事業内容と成果を紹介するとともに、今後本事業を中四国地域の薬剤師会、病院薬剤師会と連携して推進することについて、方向性の提案やこれに関する議論を行った。

○ 鳥取県薬剤師会との連携事業（*）

- ・学部生を対象として、2015及び2016年度に鳥取県薬剤師会・鳥取県共催サマーセミナーに2日間参加する研修を実施した。今後、鳥取県および同薬剤師会と連携した薬剤師教育・研修を展開するための基礎とする。

○ 岡山県北部の医療機関との連携による地域医療関係事業（*）

- ・学部生を対象として、県北の複数の病院の協力のもとに岡山県北部真庭地区2次医療圏における川崎医大救急総合診療医学講座を中心とした地域医療セミナーに全6回参加する研修を実施した。

○ 「臨床薬学演習Ⅰ」の実施（*）

- ・学部生を対象として、地域医療参加型授業として岡山大学近隣の3施設の開業医院にて正規科目「臨床薬学演習Ⅰ」を実施した。患者の診察、電子カルテへの問診の記録、バイタルサインチェック、レントゲン検査、心電図・心腹部エコーや、デイケアサービスでの診療、リハビリ室の診療・理学療法作業療法体験、訪問診療・在宅診療への同行、小学校の健康診断助手、医師会懇話会参加、薬物治療の過程でのチーム医療などを、医師指導のもとでの実地臨床体験として行った。

○ 川崎医大現代医学教育博物館見学及び倉敷芸術科学大学芸術学部学生との交流（*）

- ・川崎医大現代医学教育博物館見学及び倉敷芸術科学大学芸術学部学生との交流を実施し、医療知識の習得としてだけでなく医療人としての自覚を促す観点からも重要な機会となった。